

No.165
2016.1.20

響き

庄原コミュニティセンター報

平成27年12月31日現在
世帯数……2,311戸
男性……3,553人
女性……3,724人
合計……7,277人

発行／庄原コミュニティセンター

出雲市斐川町庄原3335 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、当センターの事業の推進に格別のご支援とご協力をいただきましたことに、心よりお礼申し上げます。

早いものでコミュニティセンターとなって4年目を迎える年となりました、まだまだコミセンの在り方が定まらないところもありますが、本年も地域の皆様の憩いの場・交流の場・学習の場として、利用しやすい親しみのあるコミセンとなるよう、職員一同心を一にして取り組んでまいりますので、今までに益してご支援ご協力を宜しくお願い致します。

皆様のご健勝とご多幸を念じ、新年のごあいさつといたします。

庄原コミュニティセンター
センター長 福島 勲
他職員一同

12/6
(H)

第2回やくも教育講演会「ぬくもりを感じて」

庄原地区人権同和教育推進協議会会長 深田和美



平成27年12月6日(日)、斐川文化会館において、徳島県同和地区青少年団体協議会「止場の会」の中倉茂樹さんを講師にお迎えして、「やくも教育講演会」を開催しました。これは、庄原コミュニティセンター・出東コミュニティセンターが主催し、斐川東中学校、庄原・出東小学校、各学校PTA、地域学校運営ブロック協議会、庄原・出東地区人権同和教育推進協議会、庄原・出東地区青少年育成協議会の共催で行われました。

当日は、初冬の肌寒い中、保護者、教師の方、地元住民の方など、多数の参加があり、約300人で会場が満席となりました。

講演は、小学校時代にいじめを受けていたこと、高校3年生まで、自分が同和地区の人間と気づかずに育ってきたが、高校の人権集会で、勇気を持って自らの立場「部落民宣言」をしたことを契機に、同和問題に取り組み始めたことなどから話が進められました。

同和問題の学習や様々な活動を通して得た、本当の仲間とのつながりや「ぬくもり」を感じたこと、ご自身の結婚差別との闘いの話、自ら体験した同和問題への様々な対応や課題などについて、エネルギーに語り、またDVDによる事例紹介やユーモアも交えつつ話が展開され、差別を絶対に許さない熱い想いが伝わってきました。とくに、今でも結婚差別がまだ生じている現実の中で、「幸せになるときは、目一杯幸せになったらいい。この人と結婚したら幸せになれる、その信念があれば最後まで貫き通す。自分が幸せになった姿を親に見てもらいなさい。それが親として一番の幸せなことだ。育ててもらった親への最高の恩返しになる。」という言葉。会場では、多くの人が感動し、涙ぐみ、うなずきながら聴き入っていました。

そして、「同和問題学習は、全ての人間が幸せになるための勉強である」との言葉を噛みしめ、心を揺さぶられるとても意義深いものとなりました。

同和問題は、自分の問題として一人ひとりが「人権感覚」を磨いていくことが大切であることを痛感し、私たちは、同和問題をはじめ、いじめなど、様々な人権差別について学び、理解し、勇気を持って取り組み、実践していくことが大切であると感じた講演会でした。



11/13
(金)

秋のウォーキング～鬼の舌震

自主企画事業

曇り空の中総勢23名で奥出雲「鬼の舌震」へ紅葉を見ながらのウォーキングに出かけました。風が無く寒くもなく、自然が造り出した奇岩・巨岩と勢いよく流れる水音に心洗われ、落ち葉を踏みしめながら1時間ほどの散策を楽しみました。遊歩道がバリアフリー化され車いすの方でも景勝を見られるようになっていました。各自、昼食後、玉峰山荘で温泉に入り、コーヒータイム・昼寝と自由時間を過ごし帰路につきました。



こども倶楽部

自主企画事業

11/28
(土)

料理講習会

マクロビオティックで県内外・海外でご活躍中の浅津知子氏をお迎えして、料理講習会を開催しました。食材の持ち味を余すところなく生かした料理方法で調理し、感謝して試食しました。調味料や素材の選び方や使い方、素材そのものの力を最大限に引き出す方法、人それぞれの体調などに合わせた調理方法などをご教示いただき、大変有意義な時間となりました。



★メニュー★

- ・玄米ご飯
- ・ごぼうと揚げのみそ汁
- ・れんこんボールきのこソース添え
- ・里芋とフロッコリーのホクホク豆乳味噌グラタン
- ・くるみクッキー



12/9
(水)

H27年度 しめ縄づくり

自主企画事業

12月9日(水)宇賀田耕さんを講師に今年もしめ縄づくりを開催しました。男女20名の参加でもくもくと頑張っ

て燃りをなっていました。易しいようでなかなか思うように藁を燃ることができません。2時間余りかかり、やっと立派なしめ縄が完成しました。それぞれの玄関に飾り、新しい年を家族と一緒に迎えられたことと思



います。荘原コミュニティセンターの玄関には講師の宇賀田耕さんに作っていただいたしめ縄が飾られています。

12/17
(木)第4回
出前交流塾
(エスポール出雲クリニック)

自主企画事業

9月から4回シリーズで開催された「認知症」をテーマにした出前交流塾の最終で「認知症の予防等について」というテーマの高橋幸男先生のお話を聴講しました。「毎日人と話をするようにしようと思いました。お茶会を(近所の方達と)楽しもう…公民館活動もいい」という受講された方の感想がありました。ぜひ、コミセン活動に参加して楽しく年を重ねていただきたいと思います。4回で総勢247名の方に参加いただきました。今後もいろいろ企画したいと思います。皆様のご参加をお待ちいたしております。

11/11
(水)

あべゆうじさんと歌おう！&松島栄養士さんとの座談会

あべゆうじさんの歌と松島久美子栄養士さんとの離乳食座談会を行いました。あべさんの歌に合わせて体を揺り動かしたり、手拍子をしてくれる赤ちゃんもいて、かわいらしい姿を見せてくれました。また、座談会では、月齢がまちまちの赤ちゃんでしたが、それぞれにふさわしい栄養のバランス、離乳食の作り方などのお話を聞いたり、質問したりと楽しい充実した時間となりました。



11/21
(土)

シクラメンウォーク

主催 荘原地区健康づくりの会 荘原コミュニティセンター
共催 ひかわスポーツ夢クラブ

11月20日から3日間、
「出雲いりすの丘」公園を主
会場に「斐川シクラメン祭」
が開催されました。「荘原地
区健康づくりの会」では「斐
川シクラメン祭」に合わせて
シクラメンウォークを開催
しました。会場までの往復約
7kmを楽しく歩きました。



荘原こどもエコクラブ

11/24
(火)

餅つき



5月に田植えか
らスタートし、アイ
ガモの放鳥、かかし
作り、秋には稲刈り
をし、「はでば」で干
した稲を脱穀し沢
山のもち米を収穫
しました。アツアツ
に蒸し上がったも
ち米を臼に入れて、
餅つきをしました。
つきたてのお餅を
みんなで丸めて、き

なこや砂糖醤油につけてみんなで楽しく食べまし
た。手作りのお餅は特別の味がしました。



11/30
(月)

ふれあいサロン研修会

朱鷺会館

ふれあいサロンは、高齢者の地域住民が定
期的な場所で気軽に集まり、ふれあいや健康
づくり等の活動を行うことで、閉じこもり予
防や社会参加の場となることを目的に、出雲
市内約370カ所で地域住民の主体的なサロン
活動として実施されています。今年の事例発
表は荘原から三絡地区で毎月行っている「秋
桜サロン」の伊藤幸治代表が「秋桜サロン」の
活動について発表されました。

本年度の研修は、ふれあいサロン活動がさ
らに活発に取り組まれることを目的に朱鷺会
館で開催されました。当日は約250人の参加
があり「健康づ
くり・介護予防」
をテーマとした
事例発表や意見
交換を通じて各
地での取り組み
を学びました。



12/4
(金)

青パト・見守り反省会

荘原地区青少年育成協議会

荘原地区青少年育成協議会の主催で、青パト・見守りのボランティアのみなさんと、斐川交番、荘原小学校、斐川東中学校の先生方との意見交換また親睦会の場として反省会を毎年行なっています。小学校、中学校での学校の子もたちの様子を校長先生から話していただき、また斐川交番からは出雲署管内の近況を話していただきました。「地域の子もたちは地域で見守ろう!」。出席者一同再確認しました。



(斐川交番原田直樹巡査部長より地域の事件、事故、犯罪の発生状況についてお話していただきました。)

12月22日、24日に歳末防犯パトロールを実施しました。

12/4
(金)

〈役員研修会〉出雲市議会傍聴について

平成27年度第4回出雲市議会本会議一般質問(2日目)の傍聴に14名が出かけました。

市民で混雑している1階とは違い、静思に気付かされる6階議場前で資料をいただき、傍聴席に着くと、議員の方の市政質問に期待と興味でドキドキしてきました。出雲市の魅力あるまちづくりに向けてのさまざまな諸質問を1人45分の持ち時間の3人の論戦を聴き、日頃から行政への関心を持ち、見聞・知識を重ねる事は活動への一歩でもあり、私達の大切な一票は議会で生かされ、未来豊かなふるさとを創りあげる事につながって行くのだと思えました。その後、強風の中むかした食事処での美味しい時間にも賢才ある会員同士が語り合い、今後の荘原のまちづくりを学ぶ良い研修会でした。



女性クラブ
「やまももの会」

12/19
(土)

交通安全キャンペーン

荘原コミュニティセンター駐車場で斐川交番のお巡りさんの誘導のもと「交通安全キャンペーン」を行いました。今年は荘原バレースポーツ少年団の6年生8名のみなさんに協力いただき、年末の安全運転を呼びかけました。小雨の降る中、一台ずつ手作りのメッセージカードや折鶴箸袋の割りばしや交番からのチラシを配布しました。



【協力団体】

- ・出雲交通安全協会荘原支部
- ・出雲市交通安全協会荘原支部母の会
- ・荘原地区交通安全対策協議会
- ・荘原地区青少年育成協議会
- ・出雲警察署斐川交番
- ・寿昌クラブ
- ・荘原小学校
- ・斐川東中学校
- ・荘原バレースポーツ少年団

以上の団体にご協力いただきました。
ありがとうございました。

「交通安全キャンペーンの活動に参加して」

私はこの活動に参加して、とても良い経験ができました。土日はバレーの練習で忙しく、こういう活動には参加する機会がなかったので、新鮮な気持ちで楽しく取り組むことができました。また車を運転する側ではないけれど、乗るようになったら気をつけたいです。お年寄りの方が「ありがとう」と声をかけてくださって、改めて地域の方々は優しいんだと感じました。この活動を生かしてして中学校でもがんばりたいです。

荘原バレースポーツ少年団 6年女子

出雲圏域健康長寿しまね推進会議表彰



出雲圏域では、健康長寿日本一の地域となるように、健康づくり活動に積極的に取り組んでいます。毎年地域で積極的に行っている団体・グループが表彰されます。今年度、庄原地区から2団体が表彰されました。

会長賞

【庄原コミュニティセンター 健康体操】

平成16年より、運動・体力づくりを行い、いつまでも元気に過ごすことを目的に継続した活動を行っている。

毎週月曜日に健康体操を行うことで、体力づくり・生きがいづくりを行っている。

奨励賞

【北田波自治会 北寿会】

平成24年より出雲市の介護予防教室に参加された方を中心に運動や交流を継続し、介護予防を行うことを目的に活動を開始した。

毎週金曜日に体操を行ったり、介護予防や健康づくりについての講演を聞いたり、茶話会を行ったりしている。

【庄原こどもエコクラブ】

出雲市青少年育成市民会議では、広く青少年の優れた活動や青少年の育成に関し模範的な活動をしている団体が表彰されます。今年度は「庄原こどもエコクラブ」が表彰されました。

主な活動

アイガモ農法(もち米作り)
川の生き物調査

平成27年度青少年育成者等功労表彰



庄原コミュニティセンターより

Information

*三代交流カローリング大会

○日時：2月11日(木) 9:00～

○場所：斐川第1体育館

*喫茶おいでませ 開店日

○日時：2月4日(木)・3月10日(木)

○場所：おいでませ館

○茶菓代：200円

*うどん、ピザ作り

○日時：2月24日(水) ○参加費：300円

手作りうどん・ピザを作ります

申し込みは庄原コミュニティセンターまで
電話で申し込みください。電話 72-4600

ありがとうございます

*庄原コミュニティセンター内外の
清掃をしていただきました
庄原コミュニティセンター
教室、サークルの皆様



*お花を添えて
いただきました
MOA
山月光輪花様



*正月用寄せ植え盆栽を飾って
いただきました
盆栽教室 矢田友吉様

教室生募集!!

【ヨガ教室】

場 所 集会室
参加費 1ヶ月 1,000円
日 時 第1・3 木曜日
13:30～15:00

身体も心もリフレッシュできますヨ

ご寄付御礼

香典返し 金一封

市川貫之様(北新町自治会)

樋野 隆様(新田下自治会)

皆様からお寄せいただきましたお志は、
庄原地区社会福祉センターに活用させていただきます。誠にありがとうございます。